

美しいまちなみ優秀賞

長野市 ぱていお大門蔵楽庭地区

所在地 長野県長野市
地区面積 約0.31ha
応募者 株式会社まちづくり長野
長野市

＜地区の概要＞

当地区は長野駅から善光寺に通じる中央通り沿いに位置し、当地区を含め周辺一帯は、古くから善光寺門前の問屋街として栄えてきたところである。

「ぱていお大門蔵楽庭」は、老朽化し空家などが目立っていた蔵群（15棟）を改修・新築し、テナント19店舗が入居する商業施設として平成17年にオープンした。これとほぼ同時期に市民と市が協力して当地区を含む大門南において街づくり協定の締結や景観自主条例による街並みの保全に取り組み、その後平成19年から景観法に基づく景観計画推進地区に移行して、街並み景観の形成が図られている。

整備後は中庭等を活用してテナント会等による各種イベントが開催され、地区周辺の歩行者量の増加や、市の新たな賑わい拠点の創出に寄与している。



▲ 中央通り側からの全景。整備前は、空家が目立ち、奥にある古い蔵は朽ち果てる寸前の状態だった。



▲ 国道406号側からの全景。敷地面積0.31haの中に、15棟（改修11棟、新築4棟）の蔵が集積している。



▲ 中央通りに面する「ぱていお大門」の西面。店蔵が軒を連ねる100年前と変わらない街並みを残すことができた。



▲ 蔵に囲まれた中庭空間は、蔵楽庭（くらにわ）として親しまれている。



▲ 敷地全体が緩やかな南下がりの傾斜地であり、この自然傾斜を活かして風情ある小路を整備している。



▲ 「テナント会」企画のジャズコンサートの様子。